

● 授業計画

1年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第3	月曜	4限	人間工学特論	産業医学における人間工学の果たす役割について、その基本的な考え方などについて理解するとともに、作業管理の現場において応用できる知識の習得を目指す。また、高年齢労働者対策および睡眠の問題については特に深く理解できるようにする。なお本特論では、人間工学演習で行う具体的な実習への橋渡しとして、演習で用いる測定機器の使用法などについても学ぶ機会を設けている。	榎原 藤原	カンファレンス ルーム

2年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第3	月曜	4限	人間工学特論	産業医学における人間工学の果たす役割について、その基本的な考え方などについて理解するとともに、作業管理の現場において応用できる知識の習得を目指す。また、高年齢労働者対策および睡眠の問題については特に深く理解できるようにする。なお本特論では、人間工学演習で行う具体的な実習への橋渡しとして、演習で用いる測定機器の使用法などについても学ぶ機会を設けている。	榎原 藤原	カンファレンス ルーム
毎月	第2	火曜 水曜	16:00 ～ 17:30	人間工学演習	人間工学で知っておくべき解剖生理の知識をベースに、人の生理機能、動作や能力の測定方法について学ぶ。職域への人間工学的知識の応用例として、ISOやAmerican Conference of Governmental Industrial Hygienists (ACGIH) が策定している人間工学ガイドラインについても学ぶ。また、脳波等を用いた睡眠の評価方法、反応時間の測定などを通じた覚醒度の評価方法についても学ぶ。さらに実験動物を用いた睡眠生理および時間生物学的研究の方法についても学ぶ。	榎原 藤原	カンファレンス ルーム
毎月	第1 第2 第3	水曜	4限	人間工学実習	ヒトを対象とした研究を行う場合には、国および大学等の制定したガイドラインに従って、十分な倫理的配慮に基づいた研究計画を立てることができる。実験動物を用いた研究を行う場合にも同様に、動物実験の適正な実施に向けたガイドラインに従って、十分な倫理的配慮に基づいた研究計画を立てることができる。人間工学的、睡眠生理学的、また時間生物学的な課題に対して、どのように科学的な解決を図るのかというプロセスを学ぶ。	榎原 藤原	カンファレンス ルーム

3年次

日程			限目時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第2	火曜 水曜	16:00 ～ 17:30	人間工学演習	人間工学で知っておくべき解剖生理の知識をベースに、人の生理機能、動作や能力の測定方法について学ぶ。職域への人間工学的知識の応用例として、ISOやAmerican Conference of Governmental Industrial Hygienists (ACGIH) が策定している人間工学ガイドラインについても学ぶ。また、脳波等を用いた睡眠の評価方法、反応時間の測定などを通じた覚醒度の評価方法についても学ぶ。さらに実験動物を用いた睡眠生理および時間生物学的研究の方法についても学ぶ。	榎原 藤原	カンファレンス ルーム
毎月	第1 第2 第3	水曜	4限	人間工学実習	ヒトを対象とした研究を行う場合には、国および大学等の制定したガイドラインに従って、十分な倫理的配慮に基づいた研究計画を立てることができる。実験動物を用いた研究を行う場合にも同様に、動物実験の適正な実施に向けたガイドラインに従って、十分な倫理的配慮に基づいた研究計画を立てることができる。人間工学的、睡眠生理学的、また時間生物学的な課題に対して、どのように科学的な解決を図るのかというプロセスを学ぶ。	榎原 藤原	カンファレンス ルーム
毎月	第1 第3	金曜	4限	人間工学論文指導	実習を通じて得られた結果を論文としてまとめ、peer-reviewed scientific journalに投稿し、雑誌編集者との適切なコミュニケーションが出来て、最終的には論文が掲載されることを目標とする。	榎原 藤原	カンファレンス ルーム

4年次

日程			限目時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第2 第3	水曜	4限	人間工学実習	ヒトを対象とした研究を行う場合には、国および大学等の制定したガイドラインに従って、十分な倫理的配慮に基づいた研究計画を立てることができる。実験動物を用いた研究を行う場合にも同様に、動物実験の適正な実施に向けたガイドラインに従って、十分な倫理的配慮に基づいた研究計画を立てることができる。人間工学的、睡眠生理学的、また時間生物学的な課題に対して、どのように科学的な解決を図るのかというプロセスを学ぶ。	榎原 藤原	カンファレンス ルーム
毎月	第2 第4	金曜	4限	人間工学論文指導	実習を通じて得られた結果を論文としてまとめ、peer-reviewed scientific journalに投稿し、雑誌編集者との適切なコミュニケーションが出来て、最終的には論文が掲載されることを目標とする。	榎原 藤原	カンファレンス ルーム